

土壌診断への取り組みについて

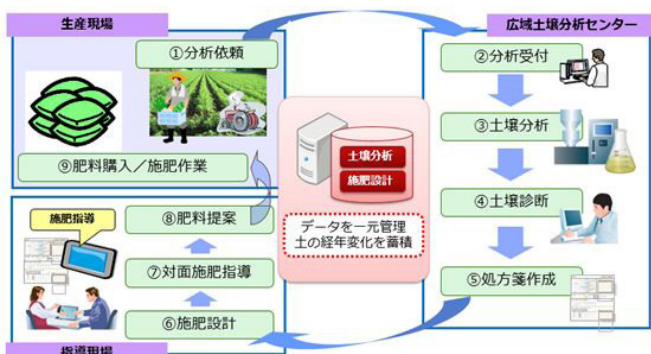
農家経営支援センターでは、土壌診断への取り組みを進めています。安定した収量確保には、まず畑の現状を知ることが重要です。診断結果に基づいた適切な土壌改良や肥料の投与を目指し、積極的な土壌診断を行う必要があります。



農家経営支援センター
TAG
川原 信也

診断結果をもとに、営農指導員と連携しながら農家指導、同時に生産販売カウンセリングを行っていきます。また、希望者全員に対して土壌診断を行える体制は整備されていませんが、試験を重ねながら、有効な土壌診断ができるよう関係各署連携し取り組みを進めています。

・土壌診断分析の流れ



・診断実施時期

各作物の栽培計画における土づくりの前には診断結果を提示すべきことから、土づくり1ヶ月前には土壌サンプルを採取します。

・次年度対象作物

さとうきび、でん粉用甘藷、青果用甘藷、豆類、バレイショ、ブロッコリー、水稻

● 植え付け ■ 収穫 ■ 土づくり

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さとうきび (春植え)	■	■	■	●							診断	■
さとうきび (秋植え)	■	■	■			診断		■	●			■
でん粉用甘藷	診断		■	●	●					■	■	
青果用甘藷	診断		■	●	●				■	■	■	
バレイショ		■	■	■		診断		■	■	●	●	
ブロッコリー	■	■	■	■		診断		■	●	●		
豆類	■	■	■			診断		■	●	●		■
水稻	■	■	●								診断	

・土壌診断の見える化に基づく比較実験

現在は、バレイショ圃場における土壌改良について、栽培暦等による土壌改良と、土壌診断に基づく土壌改良では、その後の生育・収量にどのような変化が起きるのかを比較することにより、土壌診断の有効性を検証しています。

施肥設計

肥料名	基肥量 (単当)	試肥量
苦土石灰	5袋	8袋
苦土重焼燐		1袋

分析項目	単位	分析値	適正範囲
pH	—	4.8	5.00-6.00
EC	d S/m	0.1	0.10-0.30
CEC	me/100g	17.9	15.00-35.00
交換性石灰 (CaO)	mg/100g	72.5	▽低い 182.56-251.02
交換性苦土 (MgO)	mg/100g	21.8	26.08-48.90
交換性加里 (K ₂ O)	mg/100g	57.9	15.32-38.31
塩基飽和度	%	27.4	▽低い 50.00-75.00
石灰飽和度	%	25	▽低い 40.00-55.00
苦土飽和度	%	8.5	8.00-15.00
加里飽和度	%	3.9	2.00-5.00
石灰苦土比	—	2.4	▽低い 4.00-8.00
苦土加里比	—	0.9	2.00-5.00
可給態リン酸 (有効態リン酸)	mg/100g	25.6	



獅子座
7/23
～ 8/22

【全体運】 人との触れ合いから得るものが多い月。社交性を発揮して。金運も好調。欲しかった物が手に入りそうです
【健康運】 スポーツが上達しやすいとき。レッスンへ
【幸運を呼ぶ食べ物】 アサツキ